

# 東郷村報

第56号

昭和31年8月10日  
発行所  
宮崎県東臼杵郡  
東郷村役場  
日向市富高  
安藤印刷所  
電話 64番

## 「八月盆」の運動について

宮崎県新生活運動協議会では「お盆は新暦の八月十四日、十五日に致しまして」の運動が全県下に展開されています。

お盆は新暦の八月十四日、十五日に致しまして、宮崎県新生活運動協議会が中心となり、県下の各町村で展開されています。お盆は新暦の八月十四日、十五日に致しまして、宮崎県新生活運動協議会が中心となり、県下の各町村で展開されています。

お盆は新暦の八月十四日、十五日に致しまして、宮崎県新生活運動協議会が中心となり、県下の各町村で展開されています。

## 御存じとは思いますが投票するにはあなたの名前が選挙人名簿に登録されていなければなりません

選挙人名簿には基本選挙人名簿と補充選挙人名簿の二つの種類の名簿があり、基本選挙人名簿は毎年九月十五日現在で引きつゞき三ヵ月以上（その年の六月十六日以前から）その市町村に住所を有している日本人でその年の十二月二十日迄に満二十年以上になる者を調査して調製する名簿で補充選挙人名簿は選挙の都度調製し、期日が定められその調製期日迄に満二十年以上の年齢に達し、三ヵ月以上その市町村に住所を有している者で基本選挙人名簿に登録されていない人となか、新に選挙権を得た人となか、本人の申請によつて登録する名簿であります。本年も愈々基本名簿の調製期に入りましたので、委員会は各区分長さんの集まりを願つて現に効力を有する名簿の抄本を貸し調査して

## 農業委員会だより

七月の村報その他の連絡機関を通じて御通知申し上げておりましたが、小作契約書書替事務を実施中であり、農業者と地主の間で関係地区区長さんや農業委員各位の絶大な御支援を得て計画通りの成果を挙げ得ました事を深く感謝申し上げます。次に本計画実施に当つて感じた点を二、三延べて今後の参考に供したいと思います。

一、昭和三十一年度所有農地申告について

二、昭和三十一年度所有農地申告について

## 庭の畑

しこ草の茂りがちな庭さきの野菜畑に夏虫の鳴く声は、秋風の音をやどすと長き葉めでて蜀黍は植

その広葉夏の朝明によきものと三畝がほどは芋も植えた

今は早や振かむと思へど惜しまれて見つゝただ居り蜀黍の実を

## 牧水

台風六号は新聞紙上で報じられた様に今迄に例のない風速七十

五米以上「A級台風」と銘打ち鉄塔も曲ると云う強烈なもので

## 共済だより

台風六号は新聞紙上で報じられた様に今迄に例のない風速七十

五米以上「A級台風」と銘打ち鉄塔も曲ると云う強烈なもので

## 農協だより

昨年六月に小野田協会の「グールプ」や人の万々によつて始められた農協「箱貯金」も一か年たった今日では殆んどすべてのグールプに普及された箱の貯蓄高九十八万九千円（六月末）に達する好成绩をおさめて

△フケル（フケリ）

意：ふける。ハツム。解：耽る。深く入る。義でハマリ込む。すまむ。夢中になること。「遊び」。「読み」等々。

## 一簣の土

真冬にそだつ麦の分けつは内から内からする。真夏にそだつ稲の分けつは外から外からする。このことだ。これは造物主の眼に愛の涙を流して思われる。そだつ麦の分けつは内から内からする。真夏にそだつ稲の分けつは外から外からする。このことだ。これは造物主の眼に愛の涙を流して思われる。そだつ麦の分けつは内から内からする。真夏にそだつ稲の分けつは外から外からする。このことだ。これは造物主の眼に愛の涙を流して思われる。

## 郷土「日常語」

△シリクヘ・クワン

解：本来「後暗い観音」の語呂から誤用されたもの。

陰暦で六観音（千手観音、馬頭、十一面、准胝、聖、如意）の縁日の終る廿三日「廿三夜」以後は無月のくらやみとなるので「後暗い夜」から「尻喰らい」と転じ、更に「尻食へ」に訛したもので、即ち後ドウトム（構やせぬ）の意に。



八月の家庭菜園

ガソリンで発動機は動くが、ガソリンで発動機を動かすのは、ガソリンで発動機を動かすのは、ガソリンで発動機を動かすのは...

このガソリンは、人間の食料に代り、人間の体を動かす原動力となるのと同じく、発動機を動かすのと同じく、人間の食料となるのと同じく...

野菜を食わずに働いて居ると人間の体は動かさず、後メチャクチャにこわれてしまうと言ひ、以上は人間にガソリン(米、麦、甘藷)を動かせること、甘藷、文で動かせること、甘藷、文で動かせること...

家庭菜園は、養分価値の高いものを作るのですから完全に出て来たものを作る訳には有りません、と言うのは人間も大切な野菜で最も品切れするの赤や黄や緑の色の濃い野菜です...

二、今すぐまく野菜 (イ)白菜 九、十月の気温が白菜の...

種を播いて下さい。(イ)ホーレンソウ ホーレンソウは暑さに弱く酸性に弱い作物です...

毎日のうだるような暑さです。皆さん如何ですか。今日も水銀柱が三十五度を上下しています...

甘藷は抽苔しなければならず、甘藷は抽苔しなければならず、甘藷は抽苔しなければならず...

昭和三十年度の受診状況は千二百件五十六名のお医者さんにかかっています。現在本村にはお医者さん一人もいません...

九、十月の気温が白菜の... (イ)白菜

よ り だ 保 国

切干し千切り用は八月下旬から九月にかけて播く方がよいです。芽出しが早く、八月下旬に播く方法が有りますが暑い地方では失敗が多いです...

毎日のうだるような暑さです。皆さん如何ですか。今日も水銀柱が三十五度を上下しています...

甘藷は抽苔しなければならず、甘藷は抽苔しなければならず、甘藷は抽苔しなければならず...

昭和三十年度の受診状況は千二百件五十六名のお医者さんにかかっています。現在本村にはお医者さん一人もいません...

九、十月の気温が白菜の... (イ)白菜



「やよい子供会」のラジオ体操と共同学習の風景

子供たちが一、みんなの心を合せて楽しい生活をきづこう。二、みんなの力を集めて子供の文化を高めよう。三、みんなの力を合せて社会のためにつくそう。

今年も台風発生の季節に入りました。日頃の準備は如何ですか。台風の強さは、身を持って経験済みです。身を持って経験済みです。身を持って経験済みです...

山陰派出所便り 注意して下さい。(1)危険な水域で遊ばないよう注意して下さい。溜池、沼や深淵、急流、低温の場所、有害な農薬の流入するおそれのある水域を、危険水域等の標示のあつて平素からよく教養しておいて下さい。

九、十月の気温が白菜の... (イ)白菜

堤防の天端にまで作物を作らぬこと。堤防上の大樹は風揺で地盤を起し、倒すこと。小谷等に自然繁茂する雑草により流水を阻害するものは刈払って置くこと。

毎年お盆の十七日に成願寺で、元祿三年に時の農民の生活を豊かにし平和な村建設の礎石と散った義農二十名の慰霊の供養が盛大に行われます。村人は「朝参供養」と呼んでいます。朝参とは領内に騒動を起した首領として藩主より重いおきにされた人々の家人が夫の、父の、子の、兄弟の冥福を祈るために、人目をしのいで朝早くお寺に参つたことだから「朝参」と書きます。

山陰百姓一揆は日向に於ける逃散の一例でしか、その結果が藩主の交替となり、多数の犠牲者を出したので史上重要視される事件であります。

飲肥杉と野中金右衛門翁 飲肥杉の起源は三七〇年前と云われて居るが、飲肥杉が今日の隆盛を来した第一の功労者は野中金右衛門翁である。飲肥杉の起源は三七〇年前と云われて居るが、飲肥杉が今日の隆盛を来した第一の功労者は野中金右衛門翁である。

九、十月の気温が白菜の... (イ)白菜

こに行つても職務を忘れて居ることがなかつたと伝えられて居る。斯様にして寥々たる山野は翁の努力によつて豊饒たる森林と化した。これは翁の功績を最も雄弁に物語るものである。又天保年間、当時正月の門松には家毎に四本の門松を用いていたが、年々莫大な数量に達するに及ぶ。今後翁の代りに松の枝葉を用うべきことを藩政改革の際に建議し、以来一般の風習は頓に改つたと云ふ。翁は弘化二年七月八日で辞任し、翌弘化三年五月六日七十九才で没した。(葉は飲肥杉町空也寺にある)藩主は翁の功績を賞して藤三石を贈り、更に更に藤三石扶持一石を賜り、死後十三忌に當つて祭祀料として白銀五枚を賜つたと云ふ。

「国破れて山河あり」と云われて居るが、戦時中の過伐、乱伐に加えて戦後の復興資材需要を満たすため、残された山河は荒れ果て、居ります。私共は野中金右衛門翁を思ひ、森林資源の造成と愛護に努めたいと思ひます。

後記 立秋の声をきくころになると、蝉時雨の中につづつと法師の声をきかされて秋の訪れを知らせてくれる。山の色にも、吹く風にも、かたくな秋の気配がうかがわれる。台風の被害もなく早稲は出来栄上々で重く重く穂が垂れ、太陽を受けて黄金色に光っている。今年の作付は五十町歩位にしては、どんなものだろうか。

飲肥杉の起源は三七〇年前と云われて居るが、飲肥杉が今日の隆盛を来した第一の功労者は野中金右衛門翁である。飲肥杉の起源は三七〇年前と云われて居るが、飲肥杉が今日の隆盛を来した第一の功労者は野中金右衛門翁である。

九、十月の気温が白菜の... (イ)白菜